

＜資料提供＞

令和7年10月27日

金沢城・兼六園管理事務所

内線 6537・6538

外線 234－3800

兼六園の雪吊りについて

特別名勝「兼六園」では、雪害から樹木を守るため、毎年、雪吊りを実施しています。この雪吊りは、北陸の冬の風物詩となっており、今年も下記のとおり作業を行います。

記

1 作業開始日時 11月1日（土） 午前9時から

2 作業開始樹木

からさきのまつ
「唐崎松」

園内随一の枝ぶりを誇るこの松は、5本の芯柱が立てられ、総数約800本の縄で枝を吊ります。

※なお、当日雨天の場合は、樹高の低い木から作業を開始します。その場合、唐崎松の雪吊りは、4日（火）午前8時を予定（雨天順延有）しています。

3 兼六園の雪吊りの概要

(1)種類と本数

- ・リンゴ吊り 50本（唐崎松、すごも巢籠り松ほか）
- ・幹吊り 59本（根上松、播州松ほか）
- ・その他 約700箇所（ツツジほか）

(2)使用材料等

- ・わら縄 約4,000kg（径6mm及び8mmの2種類を使用）
- ・芯柱 アテ丸太、真竹

(3)延べ作業人数

約500人

（11月1日から、庭師7名、造園業者6名にて実施）

(4)作業終了時期

12月中旬（予定）